

## 平成29年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成30年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成29年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成30年3月

土木部長 辻 義則

項 目	実 施 結 果
<p><b>1 美しい県土、楽しく便利なまちの形成</b></p> <p>◇高速交通ネットワークの完結促進</p> <p><b>【部局連携】</b></p> <p>○中部縦貫自動車道の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を国に強く要請します。</li> <li>・大野油坂道路の大野東～和泉間については、平成30年度の和泉トンネル（仮称）工事の着手を国に要請し、早期整備を目指します。</li> <li>・大野油坂道路の和泉～油坂間については、残る用地取得を進めるとともに取得が完了した区間の工事着手を国に要請し、早期整備を目指します。</li> <li>・大野油坂道路の大野～大野東間については、早期整備を目指し、用地取得の着手および道路設計の実施を国に要請します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <hr/> <p>大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を岐阜県、長野県、沿線市町、県議会とともに国に強く要請しました。</p> <p>大野油坂道路の大野東～和泉間については、平成30年度の和泉トンネル（仮称）工事の着手を国に強く要請しました。</p> <p>大野油坂道路の和泉～油坂間については、用地取得を進め、取得率が約9割となりました。 また、国は取得が完了した区間の工事に着手しました。</p> <p>大野油坂道路の大野～大野東間については、国の用地測量が完了し、地権者との契約交渉を進めています。 また、国は道路設計に着手しました。</p>
<p>○若狭さとうみハイウェイの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時性や安全性の確保のため、舞鶴西～敦賀間の4車線化を国と高速道路株式会社<sup>（株）</sup>に要請し、早期着手を目指します。</li> <li>・三方五湖スマートインターチェンジの整備促進を国と高速道路株式会社<sup>（株）</sup>に要請し、平成29年度の確実な開通を目指します。</li> </ul> <p><b>交流拡大施策</b></p>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <hr/> <p>舞鶴西～敦賀間の4車線化を沿線市町とともに国と高速道路株式会社<sup>（株）</sup>に要請しました。</p> <p>三方五湖スマートインターチェンジについては、平成30年3月24日に高速道路株式会社<sup>（株）</sup>が供用しました。</p>

項目	実施結果									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外のイベントにおいて時間短縮効果などの利便性向上の情報発信を行い、若狭さとうみハイウェイの利活用促進を図ります。 <b>交流拡大施策</b></li> <li>・舞鶴若狭自動車道西紀サービスエリアから北陸自動車道南条サービスエリアまでのガソリンスタンド空白区間の路外給油サービスの実施を国と高速道路株式会社に要請します。 <b>交流拡大施策</b></li> </ul>	<p>「若狭・三方五湖ツーデーマーチ」など県内外のイベントにおいて時間短縮効果の情報発信を行い、道路利用者に対して利活用促進の働きかけを行いました。</p> <p>開通後3年目（平成28年8月～平成29年7月）の小浜インターチェンジ～敦賀ジャンクション間の1日当たり平均交通量が約6,900台となり、1年目に比べ約6%増加しました。</p> <p>小浜インターチェンジにおいて、高速道路からの一時退出による路外給油が可能になりました。</p>									
<p>◇道路・港湾の重点整備と利用促進</p> <p><b>【部局連携】</b></p> <p>○主要道路・県境道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の安全と利便性、地元や市町の協力体制なども考慮し、優先度をつけて計画的に整備を進め、福井しあわせ元気国体の競技会場にアクセスする福井鯖江線などを供用します。 (平成28年度 累計5箇所)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>主要道路・県境道路の整備</b> 4箇所増 累計9箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井港丸岡インター連絡道路については、用地取得を進めるとともに、工事に着手し、事業の推進を図ります。</li> <li>・北陸新幹線と一体的に整備する福井森田丸岡線については、新九頭竜橋の下部工を進め、上部工に着手します。</li> <li>・北陸新幹線の南越駅（仮称）と国道8号を、敦賀駅と国道8号バイパスをそれぞれ結ぶアクセス道路については、測量、設計、用地買収等を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>福井鯖江線（越前市家久町）など3箇所を供用しました。芦原丸岡線（L=1.1km あわら市田中々～重義）については、大雪により工事の進捗が遅れたため、今年度中の供用ができませんでした。</p> <p style="text-align: center;"><b>主要道路・県境道路の整備</b> 3箇所増 累計8箇所</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">         中部縦貫自動車道 （永平寺大野道路）       </td> <td style="padding: 5px;">L=5.3km</td> <td style="padding: 5px;">7月8日供用</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">         福井鯖江線 （越前市家久町）       </td> <td style="padding: 5px;">L=0.6km</td> <td style="padding: 5px;">11月12日供用</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">         石田家久停車場線 （越前市家久町）       </td> <td style="padding: 5px;">L=0.7km</td> <td style="padding: 5px;">11月12日供用</td> </tr> </table> <p>福井港丸岡インター連絡道路については、八ツ口区等の用地取得を進めるとともに、工事に着手しました。</p> <p>福井森田丸岡線については、新九頭竜橋（仮称）の下部工が2月に完成し、3月末に上部工に着手しました。</p> <p>北陸新幹線の南越駅（仮称）と国道8号を、敦賀駅と国道8号バイパスをそれぞれ結ぶアクセス道路については、測量・設計を完了し、用地買収を進めています。</p>	中部縦貫自動車道 （永平寺大野道路）	L=5.3km	7月8日供用	福井鯖江線 （越前市家久町）	L=0.6km	11月12日供用	石田家久停車場線 （越前市家久町）	L=0.7km	11月12日供用
中部縦貫自動車道 （永平寺大野道路）	L=5.3km	7月8日供用								
福井鯖江線 （越前市家久町）	L=0.6km	11月12日供用								
石田家久停車場線 （越前市家久町）	L=0.7km	11月12日供用								

項目	実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号福井バイパスのあわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女間については、全区間において工事を促進し、福井しあわせ元気国体までの一日も早い供用を目指します。</li> <li>・国道8号南越前町大谷～敦賀市田結間バイパス等の整備については、特に対策が急がれる区間（敦賀市挙野～田結間）の概略ルートの検討等を国に要請し、早期の事業化を目指します。</li> <li>・県境道路である国道417号冠山峠道路については、岐阜県とともに工事促進を国に要請し、北陸新幹線敦賀開業に合わせた開通を目指します。</li> </ul>	<p>国道8号福井バイパスについては、沿線市とともに国体・障スポまでの一日も早い開通を国に強く要請しました。全区間において盛土・切土工事が進められ、舗装工事にも着手し、国体・障スポまでに供用する予定です。</p> <p>国道8号南越前町大谷～敦賀市田結間バイパス等の整備については、沿線市町とともに早期事業化を国に強く要請した結果、特に対策が急がれる区間（敦賀市挙野～田結間）の平成30年度からの事業化が決定されました。</p> <p>国道417号冠山峠道路については、岐阜県や沿線市町とともに平成34年度末までの完成を国に強く要請しました。岐阜県側の冠山峠第1トンネル（1.2km）工事が完了し、福井県側の第2トンネル（4.8km）については、残る2.3kmの工事に着手しました。</p>
<p><b>○敦賀港・福井港の機能強化と貿易拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀港では、鞠山南地区国際物流ターミナルの機能を強化するため、国の岸壁整備スケジュールに合わせた埋立工事を進めます。</li> <li>・九頭竜川からの流入土砂対策として福井港北防砂堤の整備を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>埋立については、新幹線工事などの建設発生土を約10万m<sup>3</sup>投入するなど、早期完成を目指して工事を進めています。（進捗率32%）</p> <p>福井港北防砂堤については、40mの延伸工事を実施しました。</p>
<p><b>◇電車・バス・自転車の利活用拡大</b></p> <p><b>【部局連携】</b></p> <p><b>○福鉄・えち鉄の高機能化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えちぜん鉄道の高架化工事について福井駅、福井口駅などの駅舎や電気、軌道などの開業設備の工事を進め、福井しあわせ元気国体までの確実な完成を目指します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>えちぜん鉄道の高架化工事については、10月に線路の敷設、12月に架線の設置、1月に駅舎の外観が完成しました。平成30年6月24日の高架切り替えに向けて、福井駅の内装工事などを進めています。</p>
<p><b>○サイクリングコースの計画的整備・延伸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光拠点や眺望ポイントをめぐる道路に自転車マークなどの路面標示を行い、サイクリングコースのネットワーク化を進めます。 （平成28年度 累計210km）</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>サイクリングコースの整備 30km増 累計240km</b></p>	<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>勝山市から、大野市の国体ロードレース会場コース（34km）、真名川河川敷サイクリングコース（9km）を結ぶ県道藤巻下荒井線などに自転車マークなどの路面標示を行い、サイクリングコースのネットワークを拡大しました。</p> <p style="text-align: right;"><b>サイクリングコースの整備 52km増 累計262km</b></p>

項目	実施結果
<p>2 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興</p> <p>◇「安全最優先」の原子力行政</p> <p>【部局連携】</p> <p>○原子力災害制圧道路等の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞鶴野原港高浜線（高浜町神野～難波江間）のトンネル工事に着手するとともに、竹波立石縄間線のトンネル（敦賀市立石）と赤礁崎公園線のトンネル（おおい町犬見～大島間）の掘削工事の完了を目指します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>原子力災害制圧道路等については、9月に舞鶴野原港高浜線（高浜町神野～難波江間）のトンネル工事に着手しました。また、竹波立石縄間線のトンネル（敦賀市立石）については6月に、赤礁崎公園線のトンネル（おおい町犬見～大島間）については9月に掘削工事が完了しました。</p>
<p>3 日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）</p> <p>◇あらゆる災害対応を迅速第一</p> <p>【部局連携】</p> <p>○除雪対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パトロール、支障木の事前伐採、国、高速道路株式会社等との情報共有のための会議の開催および現地での想定訓練など、これまでの大雪時の課題に対する除雪対策を11月までに進めます。</li> <li>交通の要所である敦賀市～越前市間の高速道路および国道において、除雪体制の充実・強化を図ります。</li> <li>緊急医療施設周辺道路、最重点除雪路線、緊急輸送道路などについて順次消雪施設を整備します。 (平成28年度 累計352km)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>消雪施設の整備</b> 4km増 累計356km</p>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>今回の大雪を踏まえて、除雪業者や建設業界の意見を十分聞きながら、除雪機械やオペレーター等に関する課題を整理し、市町や国など関係者と協力して除雪体制の強化を図っていきます。また、雪崩による道路災害の防除に努めます。</p> <p>降雪期前にパトロールを実施し、倒木の恐れとなる支障木を10月末までに事前伐採したほか、5月31日と9月28日の2回、国と高速道路株式会社等との情報共有のための会議を開催しました。また、11月8日に国道8号の先導除雪を想定した訓練を行いました。</p> <p>敦賀市～越前市間の幹線道路の除雪体制については、6月14日と9月28日の2回、国や高速道路株式会社等と検討する「豪雪時における円滑な道路交通確保検討会議フォローアップ会議」を開催し、各管理者が消雪施設整備等を行いました。</p> <p>最重点除雪路線の福井鯖江線（福井市浅水二日市～上江尻町）1.2kmなど、計10路線に消雪施設を整備しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>消雪施設の整備</b> 5km増 累計357km</p>
<p>○インフラ施設の長寿命化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な点検結果に基づき橋梁、トンネル、ダム、河川の排水機場、砂防施設、下水道施設、港湾施設などの維持・補修を行い、長寿命化対策を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>点検により早期に補修が必要と判断された、橋梁24橋、トンネル35箇所、ダムの管理制御設備等3基、河川の排水機場7施設、下水道施設1箇所、港湾の係留施設等14箇所などの維持・補修を実施しました。</p> <p>7月13日と11月29日の2回、国や高速道路株式会社と県、市町で構成する道路メンテナンス会議を開催しました。また、5年に1回の近接目視による点検が義務化された橋梁やトンネル等の道路施設を点検、補修し、長寿命化対策を進めました。</p>

項目	実施結果
<p>○足羽川ダムの建設促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>足羽川ダムについては、工事用道路と仮排水路トンネルの整備を進め、早期にダム本体工事に着工するよう国に強く要請し、平成38年度の完成を目指します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>足羽川ダムについては、2026年度の完成に向けて、仮排水路トンネル工事や工事用道路の整備を進め、早期にダム本体工事に着手するよう国に強く要請しました。</p> <p>国は、事業用地の約9割を取得するとともに、平成30年2月に仮排水路トンネル工事に着手しました。また、工事用道路（3.0km）の87%の整備を完了しました。</p>
<p>○河川の災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河内川ダムについては、本体コンクリート打設や小水力発電施設の整備を進め、事業の進捗を図ります。</li> <li>吉野瀬川ダムについては、用地取得を進めるとともに付替えの必要な県道武生米ノ線の整備を進め、事業の推進を図ります。</li> <li>浸水被害が発生した河川、想定氾濫区域内に家屋が集中している河川などを重点的に整備します。 (平成28年度 累計2,650m)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>河川の重点的整備</b> 1,000m増 累計 3,650m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、洪水により甚大な浸水被害が生じるおそれのある河川に監視カメラを増設します。 (平成28年度 累計20箇所)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>監視カメラの増設</b> 3箇所増 累計 23箇所</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>河内川ダムについては、12月に本体コンクリートの打設（258千m<sup>3</sup>）が完了しました。引き続き、ダム操作設備等の整備を進めています。</p> <p>12月に小水力発電施設の水車の製作が完了し、発電機と水車の設置工事に着手しました。</p> <p>吉野瀬川ダムについては、本体工事着手までに必要な用地取得の見通しが立ちました。県道武生米ノ線（4.5km）の付替え工事は、福井しあわせ元気国体までの供用に向けて舗装や安全施設の工事を残し完了しました。</p> <p>河川の整備については、11月に吉野瀬川の放水路が完成しました。また、市街地部を流れる磯部川や底喰川などにおいて、河道掘削や護岸整備などを重点的に進めました。</p> <p style="text-align: center;"><b>河川の重点的整備</b> 1,100m増 累計 3,750m</p> <p>過去に氾濫被害があったり、洪水により大きな損害が発生するおそれがある3河川（九頭竜川、足羽川、清滝川）に河川監視カメラを設置しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>監視カメラの増設</b> 3箇所増 累計 23箇所</p>

項目	実施結果
<p><b>○土砂災害対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域において土砂災害から保全する地区を増やすため、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設などの整備を進めます。 (平成28年度 累計977地区)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>土砂災害対策施設の整備 5地区増 累計982地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な住民避難につなげるため、市町と連携し土砂災害を想定した避難訓練を継続して実施します。</li> <li>防災意識の向上のため、住民を対象とした土砂災害講習会や小学生を対象とした防災出前授業を開催します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>上町川（小浜市）など4地区に砂防堰堤を、小原地区（若狭町）に急傾斜地崩壊対策施設を整備し、累計982地区の施設整備を完了しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>土砂災害対策施設の整備 5地区増 累計982地区</b></p> <p>土砂災害を想定した避難訓練を福井市など11市町において実施しました。</p> <p>住民対象の土砂災害講習会を美山地区（福井市）など5地区、小学生対象の防災出前授業を片上小学校（鯖江市）など25校において開催しました。</p>
<p><b>○空き家対策の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中古住宅の流通を促進するため、ふくい空き家情報バンクへの登録を促します。 (平成28年度新規登録 226戸)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>空き家情報バンクへの登録 200戸</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>空き家所有者に対して空き家情報バンクの登録を呼びかけるよう、全市町や宅建協会などの不動産関係3団体に対して働きかけを行うとともに、文書により協力を要請しました。県民や事業者向けの講習会において、空き家情報バンクのPRを10回実施しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>空き家情報バンクへの登録 204戸</b></p>
<p>◇「安全・安心ふくい」確立プラン 【部局連携】</p> <p><b>○通学路や高齢者の安全確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用者や歩行者の安全を確保するため、市町の教育委員会や警察署と協議し、自転車安心通行帯の整備を進めます。 (平成28年度 累計17km)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>自転車安心通行帯の整備 7km増 累計24km</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>5市町（福井市、あわら市、越前市、小浜市、若狭町）の教育委員会や警察署との協議結果に基づき、越前市の福井朝日武生線など6路線7kmに自転車安心通行帯を整備しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>自転車安心通行帯の整備 7km増 累計24km</b></p>

項目	実施結果
<p>4 人口減少に歯止めをかける徹底戦略</p> <p>◇日本一の「結婚・子育て応援社会」 【部局連携】</p> <p>○ふくいの住まい総合支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の定住、子育て世帯の住環境向上、多世帯の同居・近居に必要な一戸建て住宅の購入、リフォーム工事への助成を行います。</li> </ul> <p><b>交流拡大施策</b> (平成28年度 157戸)</p> <p>住宅の購入、リフォーム工事への助成 120戸</p>	<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>市町と協力して、移住者10戸、子育て世帯17戸、多世帯同居50戸、多世帯近居77戸を対象に、一戸建て住宅の購入やリフォーム工事への助成を行いました。</p> <p>住宅の購入、リフォーム工事への助成 154戸</p>
<p>5 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に</p> <p>◇景観を県民資産に【部局連携】</p> <p>○「わがまち景観」の保全・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路周辺の景観を改善するため、道路標識柱等の集約化を行うとともに、標識の撤去を進めます。 (平成28年度 累計39箇所)</li> </ul> <p>道路標識等の集約化・撤去 15箇所増 累計54箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井しあわせ元気国体の開催や北陸新幹線の県内開業に向け、観光地や街並みなどの良好な景観づくりを推進するため、屋外広告物条例等の改正により基準に適合しなくなった広告物について、広告主や広告事業者による撤去・改修を更に進めます。 (平成28年度 49件)</li> </ul> <p>屋外広告物の撤去・改修 411件増 累計460件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井しあわせ元気国体に向け、歩行者、自転車利用者が多く、十分な滞留スペースがない福井市のまちなかの交差点において、角地の空き地を休憩場所や緑化スペースなどの快適な区間として有効に活用します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>交通量の減少により必要性が低下した敦賀美浜線などにある、9箇所の交差点の予告標識を撤去しました。 大野勝山線などにある6箇所の交差点標識等を撤去しました。</p> <p>道路標識等の集約化・撤去 15箇所増 累計54箇所</p> <p>市町と協力し、広告主や広告業者などに対して、改善要請文書の送付や、景観改善が必要な足羽山周辺などの関係者や大手広告業者などに対して、改善への協力依頼を49回行いました。 広告主や広告業者により、基準に適合しなくなった広告物が215件撤去、34件改修されましたが、交差点周辺、幹線道路沿いなどに広告板を設置している広告業者などからの協力が得られず、改善件数が目標に至りませんでした。 今後、支援制度を丁寧に説明することにより、広告設置者による支援制度を利用した屋外広告物の早期改善を進めます。</p> <p>屋外広告物の撤去・改修 200件増 累計249件</p> <p>福井市内の歩行者、自転車利用者の滞留スペースが十分でない交差点について、角地の空き地5箇所を休憩場所等として整備しました。</p>

項 目	実 施 結 果
<p>・足羽川において水辺に親しむイベント、川遊び、釣り体験などの親水活動の定着を図るとともに、史実に近い和船による毛矢の漕舟体験を実施します。</p> <p><b>交流拡大施策</b> (平成28年度参加者 7,000人)</p> <p style="text-align: center;"><b>足羽川での親水イベント参加者</b> 7,100人</p> <p>・北陸新幹線等大型工事により生じる建設発生土の搬出入状況の確認を行うとともに、想定している土量、土質、時期などの変更に対応した需給調整を行い、土砂採取による山の切り崩しを抑制し景観を保全します。</p> <p>・福井しあわせ元気国体に向け、競技会場やアクセス道路、鉄道から見える河川において、伐木、浚渫を重点的に実施するとともに、浚渫土砂の工事間流用や土質改良を行い、有効活用を図ります。</p> <p>(平成28年度 河川の伐木 4.0km 河川の浚渫 4.1万m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: center;"><b>河川の伐木</b> 11km <b>河川の浚渫</b> 4.5万m<sup>3</sup></p> <p>・福井しあわせ元気国体に向け、競技会場へのアクセス道路において、植樹柵の修繕や舗装補修等を行うとともに、地域住民や企業等との共動により、道路の除草や植栽を行う道守活動を推進します。</p> <p>(平成28年度 64団体)</p> <p style="text-align: center;"><b>道守活動団体</b> 80団体</p>	<p>足羽川の利活用については、Eボート川下りや魚釣り体験教室など水辺に親しむイベントを開催し、6,200人の参加がありました。</p> <p>4月から10月にかけて、春まつりや花火大会などのイベントに合わせて「毛矢の漕舟体験」を実施し、948人の参加がありました。</p> <p style="text-align: center;"><b>足羽川での親水イベント参加者</b> 7,100人</p> <p>鉄道・運輸機構、国土交通省、県および市町をメンバーとした「建設発生土利用促進委員会」を2回開催し、北陸新幹線等大型工事により生じる建設発生土の搬出入状況を確認し、需給調整を行いました。</p> <p>新北陸トンネル工事の掘削土は、敦賀港鞠山南地区のふ頭用地の埋立工事に約11万m<sup>3</sup>搬出、コンクリート骨材として約11万m<sup>3</sup>を活用しました。</p> <p>足羽川や日野川などの河川敷における延長15.5kmの区間において3,000tの伐木を実施し、そのうち600tを県民に提供しました。</p> <p>河川に堆積した土砂4.8万m<sup>3</sup>を浚渫し、そのうち2.6万m<sup>3</sup>を道路盛土材などに活用しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>河川の伐木</b> 15.5km <b>河川の浚渫</b> 4.8万m<sup>3</sup></p> <p>国体・障スポ競技会場へのアクセス道路などにおいて、植樹柵の修繕や舗装補修を行うとともに、沿線の自治会に働きかけを行い、道守活動を推進しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>道守活動団体</b> 81団体</p>



項 目	実 施 結 果
<p>○無電柱化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観の向上や防災の観点から、電力事業者や通信事業者の理解を得ながら、電線の地中化などによる無電柱化を進めます。 (平成28年度 累計18.0km)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>無電柱化</b> 1.2km増 累計19.2km</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の緊急輸送に必要な道路について、道路法に基づき電柱の新設を抑制する区間の指定を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>歩道の整備にあわせ、鯖江市内の国道417号などで計1.2kmの電線を地中化しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>無電柱化</b> 1.2km増 累計19.2km</p> <p>緊急輸送道路の約800kmを電柱の新設を抑制する区間に指定しました。</p>
<p>○三里浜緑地の利活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に緑豊かな自然を楽しめるよう、樹林地内の下草刈りや枝打ちにより緑地内の見通しをよくするなどの環境改善を行い、地域住民等に親しまれ、利用しやすい環境づくりを進めます。</li> <li>・健康づくりのためのウォーキングや自然学習の場として自然観察会などを開催するほか、「道の駅」などと連携した利活用を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>緑地の中央付近において、下草刈りや枝打ちなどを約30ha実施し、見通しの改善を進めました。</p> <p>テクノポート福井総合公園と協力し、7月30日に親子ふれあい自然学習会を実施し、67名の参加がありました。 道の駅「みくに」の花らっきょ祭の開催に合わせ、11月5日に三里浜緑地や三里浜特産物を紹介するイベントを実施し、200名の参加がありました。</p>
<p>◇低炭素のまちづくり推進</p> <p>○環境に調和した研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点等の効率的な融雪を実現するため、炭素繊維を活用した融雪技術の開発を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>融雪に必要な熱量を発生させるために最適な炭素繊維シート(厚み・密度等)の選定を行い、室内試験で舗装との付着強度も問題ない事が確認できました。</p>
<p>6 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略</p> <p>◇観光フロンティア・福井【部局連携】</p> <p>○100万人観光地の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅」をより魅力的な観光や地域振興の拠点とするため、スタンプラリーの実施や「道の駅」が共同で開催するイベントへの支援等を行い、利用客の拡大を図ります。</li> </ul> <p><b>交流拡大施策</b> (平成28年 450万人)</p> <p style="text-align: center;"><b>「道の駅」の利用客</b> 455万人</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県内15の道の駅のほか、隣接府県の近隣道の駅や、道の駅で買える福井の食材、駅長イチオシのお出かけスポット情報を満載したガイドブックを2万部作成し、広く配布しました。</p> <p>9月から2月にかけて訪問した道の駅の数に応じて景品が当たるスタンプラリーを実施し、合計395件の応募がありました。</p> <p>道の駅の魅力を発信し、利用客の拡大を図るため、11月4日に道の駅「みくに」において、県内15の道の駅の駅長で組織する「ふくい道駅会」が開催した共同イベント「福井まるごと道の駅」を支援しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>「道の駅」の利用客</b> 460万人(見込み)</p>

**【実施結果の区分】**

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)